



URL: <https://chizai-portal.inpit.go.jp/madoguchi/miyagi/>

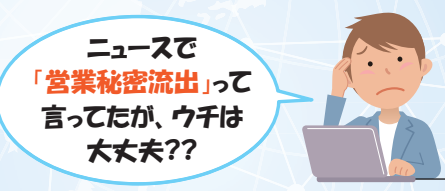
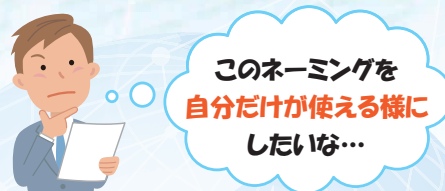
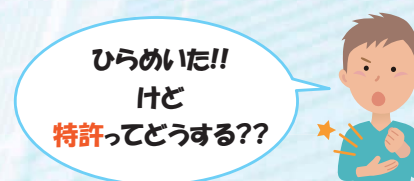
INPIT 宮城県知財総合支援窓口

新しい技術・商品デザイン・商品ネーミング・ロゴマーク・屋号・営業上のノウハウ等

知的財産のこと、ご相談ください

相談
無料

秘密
厳守



開設時間
毎週 月曜日から金曜日 (祝祭日年末年始を除く)
9:00 ~ 12:00 / 13:00 ~ 17:00

TEL 022-725-6370
FAX 022-779-6277



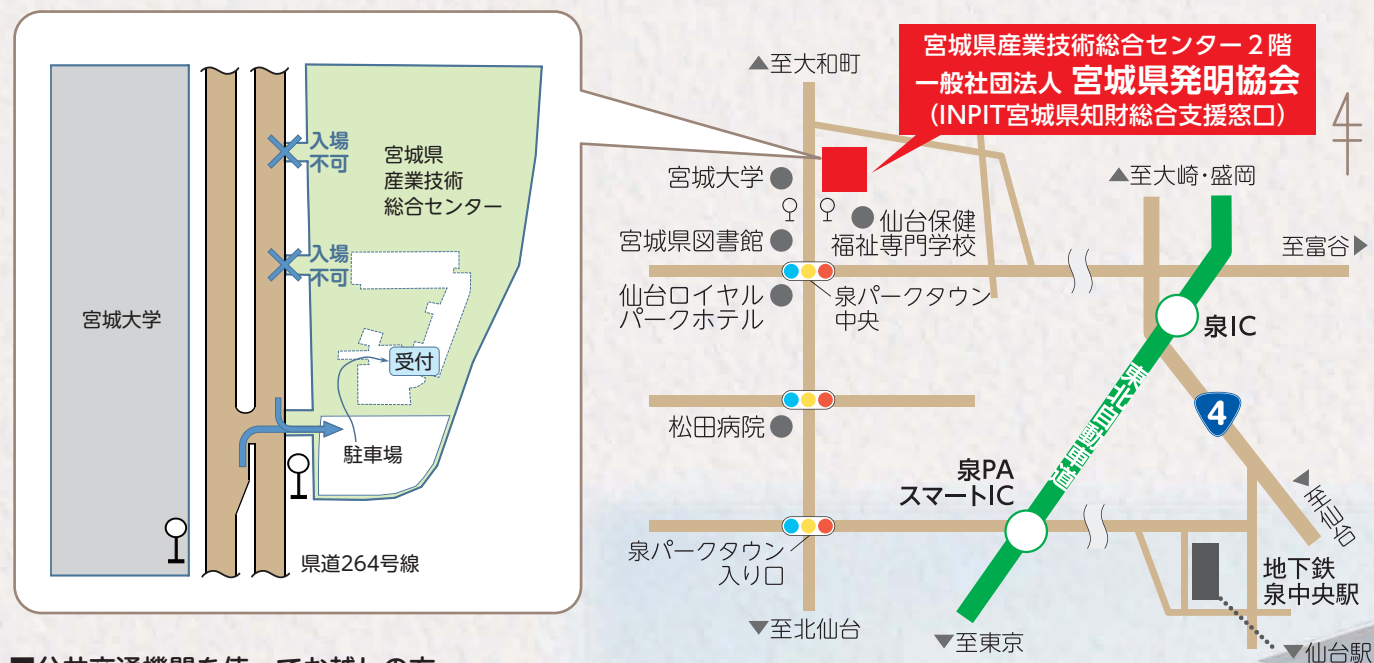
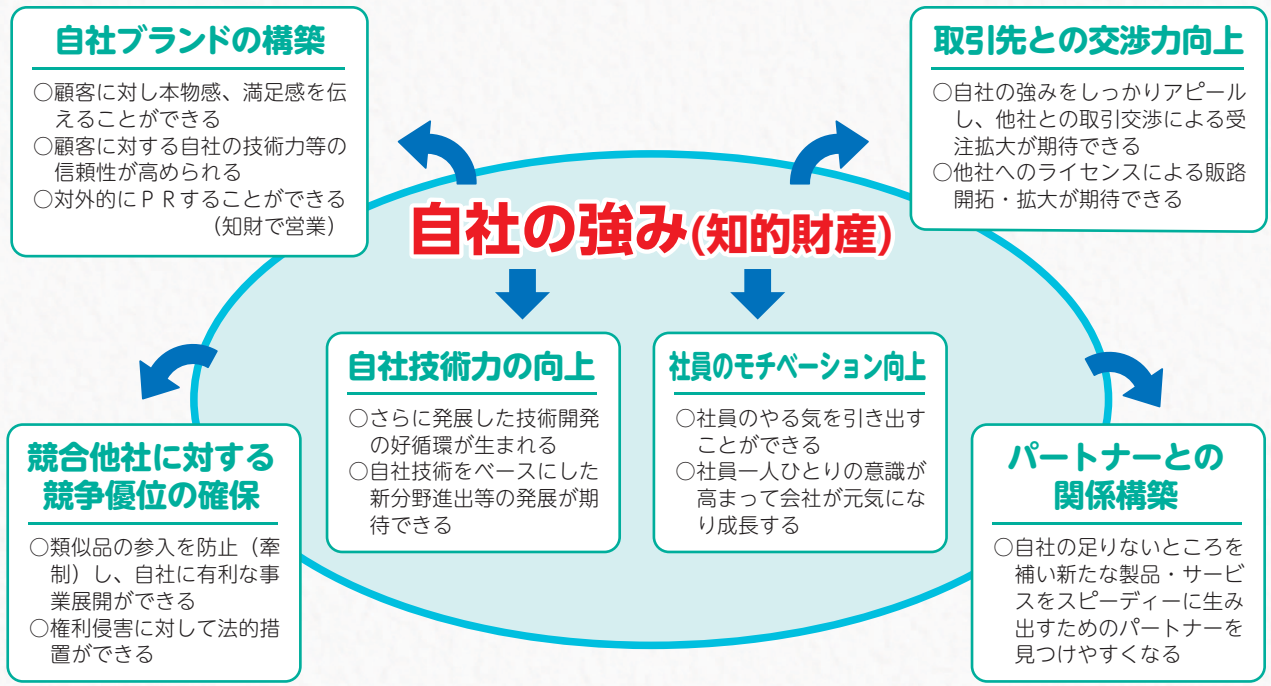
独立行政法人工業所有権情報・研修館 (INPIT) 事業

INPIT (インピット) は、特許庁と連携しながら
企業における知的財産活用を支援する公的機関です。

実施機関：一般社団法人 宮城県発明協会

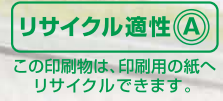
URL: <https://miyagijiii.com/>

『自社の強み(知的財産)』を見える化すると(メリット)



- 公共交通機関を使ってお越しの方
- 仙台駅前バスプール 2番乗り場より「宮城大学・仙台保健福祉専門学校前行き」で終点下車 徒歩 3分
 - 地下鉄南北線泉中央駅路線バス 3番乗り場より「宮城大学前経由泉パークタウン車庫行き」で「宮城大学・仙台保健福祉専門学校前」下車 徒歩 3分
- お車でお越しの方
- 東北自動車道 泉インターチェンジから約5.4km(15分)または泉PAスマートIC(ETC専用)から約3.7km(10分)
 - 仙台駅から約14km(40分)

一般社団法人 宮城県発明協会
〒981-3206 仙台市泉区明通2-2 宮城県産業技術総合センター内 2階 (令和5年5月作成)



窓口での 支援内容

- 「INPIT宮城県知財総合支援窓口」では、中小企業等の特許・商標等の知的財産に関する悩みや課題などの相談に応じるため、窓口支援担当者が様々な支援を行っています。
- また、より専門的な相談や高度な相談については、弁理士や弁護士等の知財専門家と協働して支援を行います。
- 窓口支援担当者や知財専門家への相談は無料ですので、まずはお気軽にご相談ください。

ご相談の流れ



●知的財産の種類

種類	内容／保護対象	権利期間
特許権	物、方法、製造方法などの発明	出願から20年(一部25年に延長)
実用新案権	物品の構造、形状等の考案	出願から10年
意匠権	物品の形状等、建築物、機器のアイコン等のデザイン	出願から25年
商標権	物品・サービス等のブランド名やロゴマーク	登録から10年(更新可)
著作権	文芸、学術、美術、音楽、プログラム等	自然人:死後70年 法人:公表後70年
回路配置利用権	集積回路の配置	登録から10年
育成者権	植物の新品種	登録から25年(樹木30年)
営業秘密	事業に有用な情報(ノウハウ、レシピ等)	期限なし

他にも商品等表示の保護(不正競争防止法)、農産品の名称の保護(地理的表示)などがある。

支援事例 ブランド化に基づく知財経営支援



詳細はこちら→

企業名：株式会社 利久

■ 窓口活用のきっかけ

自社商品の販売や直営の飲食店舗の海外展開を始めるにあたり、外国商標の取得方法について相談を受けました。また、国内商標に関してもブランドの強化のためにどのように商標を取得していけばよいか模索中でした。

■ 窓口を活用して変わったところ

INPITの専門家から海外展開の助言を受け、各種補助金制度を利用し、中国等での商標取得を支援しました。外国商標の取得により、海外展開も計画通り進められました。又、国内商標に関してロゴ等の権利取得を支援し、多くの商品に登録商標を表示する事で、他社との差別化、顧客満足度と信頼度の向上、営業力強化、ブランディング戦略の加速ができました。さらに、知的財産について社内会議の定期的開催により知財を活用した経営戦略の策定ができるようになりました。なお、同社は知的財産の有効活用に対し、特許庁から「令和4年度知的財産権制度活用優良企業等」として表彰されました。

■ 企業からのメッセージ

知財総合支援窓口が行っている様々な支援を利用して頂き、当社商品のブランド化が図られ、商品の種類や店舗数の拡大を実現できました。また、食品業界におけるブランド力の重要性を認識できました。今後もより一層の発展を期すべく、知財経営を推し進めていきたいと思っております。

URL: <https://chizai-portal.inpit.go.jp/supportcase/2022/07/post-1107.html>



支援事例 自社開発装置の権利化による新事業、他業界へ展開



詳細はこちら→

企業名：株式会社 エリオス

■ 窓口活用のきっかけ

同社の製品の1つに包装関連の「容器供給装置」があり、顧客企業からの要求に対応し、新規に「麺取り装置」を開発しました。同社は、自社製品として展開するには権利化が必要であると判断し、INPIT宮城県知財総合支援窓口にご相談しました。

■ 窓口を活用して変わったところ

窓口の助言に基づき同社が先行技術を調査した結果、本装置は特許の要件を備えている事がわかり、同社が作成した出願用の書類についての助言も活用し、同社は特許を出願しました。その後、特許庁から拒絶理由通知が来ましたが、窓口の助言もあり「麺取り装置」は登録されました(特許第6667776号)。本装置は需要者から高い評価を受け、既に数千万円の売り上げがあり、今後の受注も期待されます。同社では創業当初のプラスチック成形に加えて、省力化機械装置事業も経営のもう一つの柱として育ちつつあります。

■ 企業からのメッセージ

窓口の支援により、当社として2件目の特許出願が登録となり、自社製品の販売に向けた競争力強化に弾みがつきました。現在は製品の主な販路が、食品業界ですが、今後は、他の業界にも展開可能な開発に取り組み、社業を支えるもう一つの柱を構築すべく、日々研鑽を続けています。

URL: <https://chizai-portal.inpit.go.jp/supportcase/2022/10/post-1187.html>



窓口支援担当者の紹介



森 一英

窓口支援担当者

mori-myjiii@aurora.ocn.ne.jp



千葉 雅彦

窓口支援担当者

chiba-myjiii@aurora.ocn.ne.jp



片平 忠夫

窓口支援担当者

katahira-myjiii@aurora.ocn.ne.jp



渡辺 浩伸

窓口支援担当者

watanabe-myjiii@aurora.ocn.ne.jp



今野 裕行

窓口支援担当者

konno-myjiii@aurora.ocn.ne.jp